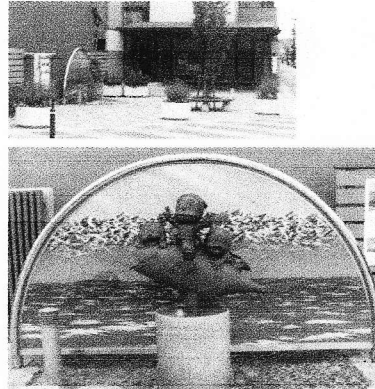


情報わいど

忍者ハットリくんの水飲み場 ＝氷見市

漫画界の巨匠、藤子不二雄^④先生は富山県氷見市の出身です。そんな氷見市は、先生にご協力をいただき、まんがを生かしたまちづくりを進めています。

道の駅「氷見」の水見漁港場外市場ひみ番屋街から、市の中心部を流れる湊川にかかる忍者ハットリくんのカラクリ時計までの商店街通りは、「まんがロード」と呼ばれ、忍者ハットリくんとその仲間たちをはじめ、たくさんの藤子^④先生のキャラクターのモニュメントが立ち並んでいます。まんがロードの中心には、中央町ポケットパークという



小さな広場があります＝写真上。そこには、四阿（あずまや）や観光情報案内板、サークルベンチ、忍者ハットリくんの水飲み場があります。この水飲み場は、「魚のまち氷見」を象徴する

「ひみ寒ぶり」にハットリくんとその仲間たちがまたがった楽しい像があり、手裏剣形のボタンを押すと、ブリの口から水が出る仕組みになっています＝写真下。市民や観光客の憩いの場として、また休憩所として、楽しんでもらえる場所となっています。

（富山県・氷見市企画振興部観光・マーケティング・おもてなしブランド課主事、寺田沙貴）

水飲み場



全活動に充てられる。なお、「水を恋人に」は英独仏中など8カ国語に訳され、さらにタガログ語など3カ国語版が準備中という。

名古屋給水百周年記念歌 山村、杉戸両氏が制作、CDに

かつてCD「水を恋人に」を発表した元厚生労働省水道課長・山村尊房さん（作曲）Ⅱ写真、元厚生省水道環境部長・杉戸大作さん（作詞）が今度は、給水100年を迎えた名古屋市の100周年記念歌を制作、8月末の同市上下水道局OB交流会で披露した。

「鯪水不尽」「名古屋の水」「鯪水よいつまでも」の3曲。交流会で両氏は「名古屋の水道の高いレベルは市民の信頼のたまもの。さらに親しまれるようになれば」と話し、演歌歌手の別府たけしさんが熱唱した。「鯪水不尽」「名古屋の水」を収録したCDは名古屋環未来研究所から1080円（税込）で発売され、収益は水源地保

リスボンでIWA世界会議

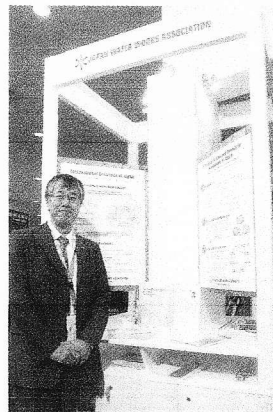
日本からも日水協、東京都、横浜市などが出席



会場には現地水道関係者も多数来訪



松井三郎京大名誉教授(中)、吉村和就グローバルウォータージャパン代表(右)も来訪



陣頭指揮の尾崎勝・日水協理事長

IWA（国際水協会）世界会議・展示会が9月21日から26日まで、ポルトガル共和国の首都リスボンで開催され、日本をはじめ世界各地から多数の上下水道関係者が参集した。

このうち22日から始まった展示会では各国から約210社が出展。わが国からは日本水道協会、東京都、横浜市、日本下水道協会、水団連、クボタ、大成機工など10団体・社で構成するジャパン・パビリオンが日本の上下水道についての情報発信を担った。

期間中、現地の国有水道関係者らがパビリオン内のブースを頻繁に訪ね、木股昌俊・クボタ社長も姿を見せるなど、水道関係者らでにぎわい、尾崎勝・日水協理事長らが日本の水道技術の優秀性をアピールした。（本誌・矢野隆司）